

数学演習第二（演習第10回）

微積：重積分 [1]（重積分の定義，累次積分）

2021年1月6日 実施

- 小テストの問題は [1] の4問です．レポート課題は [2] の4問です．
- それ以外の問題は自習用問題です（こちら是非解いてください）．
- 要点もよく読むこと．また，問題を解く際には積分領域をかならず図示してみること．
- レポート課題の答案には答えだけでなく途中の計算も書いてください．

【要点】

- 累次積分の定義（微積教科書 pp. 109–110）

- $D = \{(x, y) \mid a \leq x \leq b, \varphi_1(x) \leq y \leq \varphi_2(x)\}$ の場合（ x に関して単純な領域の場合）
まず， x を固定して， $f(x, y)$ を y に関して $\varphi_1(x)$ から $\varphi_2(x)$ まで積分する：

$$\int_{\varphi_1(x)}^{\varphi_2(x)} f(x, y) dy \quad \cdots (*)$$

さらに， $(*)$ を x に関して a から b まで積分したものを $\int_a^b dx \int_{\varphi_1(x)}^{\varphi_2(x)} f(x, y) dy$ と表す．

- $D = \{(x, y) \mid c \leq y \leq d, \psi_1(y) \leq x \leq \psi_2(y)\}$ の場合（ y に関して単純な領域の場合）
 x に関して単純な領域の場合と同様に，まず $f(x, y)$ を x に関して $\psi_1(y)$ から $\psi_2(y)$ まで積分し，
つぎに y に関して c から d まで積分したものを $\int_c^d dy \int_{\psi_1(y)}^{\psi_2(y)} f(x, y) dy$ と表す．
- $\int_a^b dx \int_{\varphi_1(x)}^{\varphi_2(x)} f(x, y) dy$ と $\int_c^d dy \int_{\psi_1(y)}^{\psi_2(y)} f(x, y) dy$ をまとめて 累次積分 という．

- 累次積分と2重積分の関係（微積教科書 pp. 111–112）

- D が（ x または y に関して）単純な領域の場合には累次積分と2重積分の値は一致する．すなわち， D が x に関して単純な領域の場合には

$$\iint_D f(x, y) dx dy = \int_a^b dx \int_{\varphi_1(x)}^{\varphi_2(x)} f(x, y) dy \quad \cdots (\text{あ})$$

となり， D が y に関して単純な領域の場合には

$$\iint_D f(x, y) dx dy = \int_c^d dy \int_{\psi_1(y)}^{\psi_2(y)} f(x, y) dx \quad \cdots (\text{い})$$

となる．ただし， $f(x, y)$ ， φ_1 ， $\varphi_2(x)$ ， $\psi_1(y)$ ， $\psi_2(y)$ は連続関数とする．

- 例1（微積教科書 p. 115, 2(3)）

$D = \{(x, y) \mid x^2 + y^2 \leq 1, x \geq 0\}$ のとき $\iint_D x dx dy$ を求める． D を x に関して単純な領域の形で表すと， $D = \{(x, y) \mid 0 \leq x \leq 1, -\sqrt{1-x^2} \leq y \leq \sqrt{1-x^2}\}$ となるので，

$$\iint_D x dx dy = \int_0^1 dx \int_{-\sqrt{1-x^2}}^{\sqrt{1-x^2}} x dy = \int_0^1 x \cdot 2\sqrt{1-x^2} dx = -\frac{2}{3} \int_0^1 \{(1-x^2)^{\frac{3}{2}}\}' dx = \frac{2}{3}$$

を得る．また， $D = \{(x, y) \mid -1 \leq y \leq 1, 0 \leq x \leq \sqrt{1-y^2}\}$ のように， y に関して単純な領域の形でも表すことができるので，

$$\iint_D x \, dx \, dy = \int_{-1}^1 dy \int_0^{\sqrt{1-y^2}} x \, dx = \int_{-1}^1 \frac{1-y^2}{2} \, dy = \int_0^1 (1-y^2) \, dy = \frac{2}{3}$$

と計算してもよい．

－ 例 2 (微積教科書 p. 115, 2 (7))

3 変数関数 $f(x, y, z)$ の場合にも同様に累次積分を定義することができ，それを利用して 3 重積分を計算することができる．例えば， $D = \{(x, y, z) \mid 0 \leq x \leq 1, 0 \leq y \leq 1-x, 0 \leq z \leq 1-x-y\}$ のとき $\iiint_D z \, dx \, dy \, dz$ を計算してみると，

$$\begin{aligned} \iiint_D z \, dx \, dy \, dz &= \int_0^1 dx \int_0^{1-x} dy \int_0^{1-x-y} z \, dz = \int_0^1 dx \int_0^{1-x} \frac{(1-x-y)^2}{2} \, dy \\ &= \int_0^1 \frac{(1-x)^3}{6} \, dx = \frac{1}{24} \end{aligned}$$

となる．

● 累次積分の積分順序の交換 (微積教科書 p. 113)

－ 例 3 (微積教科書 p. 115, 3 (1))

累次積分 $\int_{-1}^1 dx \int_0^{2\sqrt{1-x^2}} f(x, y) \, dy$ の積分順序を交換する．すなわち，先に y で積分して後に x で積分しているところを，先に x で積分して後に y で積分する形に書きかえる． $D = \{(x, y) \mid -1 \leq x \leq 1, 0 \leq y \leq 2\sqrt{1-x^2}\}$ とおくと，累次積分と 2 重積分の関係 (あ) より，

$$\iint_D f(x, y) \, dx \, dy = \int_{-1}^1 dx \int_0^{2\sqrt{1-x^2}} f(x, y) \, dy$$

が成り立つ．一方， D は $D = \{(x, y) \mid 0 \leq y \leq 2, -\sqrt{1-(y^2/4)} \leq x \leq \sqrt{1-(y^2/4)}\}$ と表されるので，累次積分と 2 重積分の関係 (い) より，

$$\iint_D f(x, y) \, dx \, dy = \int_0^2 dy \int_{-\sqrt{1-(y^2/4)}}^{\sqrt{1-(y^2/4)}} f(x, y) \, dx$$

が成り立つ．以上より，

$$\int_{-1}^1 dx \int_0^{2\sqrt{1-x^2}} f(x, y) \, dy = \int_0^2 dy \int_{-\sqrt{1-(y^2/4)}}^{\sqrt{1-(y^2/4)}} f(x, y) \, dx$$

となり，積分順序を交換することができた．

－ 例 4 (微積教科書 p. 115, 3 (2))

累次積分 $\int_{-2}^1 dx \int_{x^2}^{-x+2} f(x, y) \, dy$ の積分順序を交換する． $D = \{(x, y) \mid -2 \leq x \leq 1, x^2 \leq y \leq -x+2\}$ とおく． D を y に関して単純な領域の形で表すと，つぎの 2 つの領域に分割される．

$$\begin{aligned} D_1 &= \{(x, y) \mid 0 \leq y \leq 1, -\sqrt{y} \leq x \leq \sqrt{y}\}, \\ D_2 &= \{(x, y) \mid 1 \leq y \leq 4, -\sqrt{y} \leq x \leq 2-y\}. \end{aligned}$$

よって,

$$\begin{aligned} \int_{-2}^1 dx \int_{x^2}^{-x+2} f(x, y) dy &= \iint_D f(x, y) dx dy = \iint_{D_1} f(x, y) dx dy + \iint_{D_2} f(x, y) dx dy \\ &= \int_0^1 dy \int_{-\sqrt{y}}^{\sqrt{y}} f(x, y) dx + \int_1^4 dy \int_{-\sqrt{y}}^{2-y} f(x, y) dx \end{aligned}$$

となる.

● 空間図形の体積 (微積教科書 p. 129)

– 空間図形 V の体積を求めるには, V を平面 $x = t$ で切ったときの断面積 $S(t)$ を t について積分すればよい. ただし, t は断面が空集合にならない範囲を動く.

– 例 5

xyz 空間内において, 原点中心, 半径 $r > 0$ の球面で囲まれた部分を V とし, V の体積 $v(V)$ を求める. V を平面 $x = t$ で切ったときの断面は円: $y^2 + z^2 = r^2 - t^2$ なので, 断面積 $S(t)$ は $S(t) = \pi(r^2 - t^2)$ となる. また, t の動く範囲は $-r \leq t \leq r$ である. よって,

$$v(V) = \int_{-r}^r S(t) dt = 2\pi \int_0^r (r^2 - t^2) dt = \frac{4}{3}\pi r^3$$

を得る. 【注】断面積を求める際には平面 $y = t$ や平面 $z = t$ で切ってもよい. 計算しやすいものを選択すること. ただし, 一般に, 切り方を変えると断面積 $S(t)$ や t の動く範囲も変わるので注意すること.

【小テスト: オンライン受験】

1 $p, q, r > 0$ に対して, $D = \{(x, y) \mid x \geq 0, x^{1/p} + |y|^{1/q} \leq r\}$, $I = \iint_D f(x, y) dx dy$ とする.

(1) $I = \int_a^b dx \int_{\varphi_1(x)}^{\varphi_2(x)} f(x, y) dy$ と表したとき, つぎの(ア)から(エ)の中から正しいものを すべて 選べ.

(ア) $a = 0$ (イ) $b = r$ (ウ) $\varphi_1(x) = 0$ (エ) $\varphi_2(x) = (r - x^{1/p})^q$

(2) $I = \int_c^d dy \int_{\psi_1(y)}^{\psi_2(y)} f(x, y) dx$ と表したとき, つぎの(ア)から(エ)の中から正しいものを すべて 選べ.

(ア) $c = -r^q$ (イ) $d = r^p$ (ウ) $\psi_1(y) = 0$ (エ) $\psi_2(y) = (r - |y|^{1/q})^p$

(3) $p = q = r = 2$ かつ $f(x, y) = x$ のとき, I の値をつぎの(ア)から(エ)の中から選べ.

(ア) $\frac{2^5}{15}$ (イ) $\frac{2^6}{15}$ (ウ) $\frac{2^7}{15}$ (エ) $\frac{2^8}{15}$

(4) $p = q = r$ かつ $f(x, y) = (p - |y|^{1/p})^p$ のとき, I の値をつぎの(ア)から(エ)の中から選べ. ただし, $B(s, t)$ はベータ関数とする (すなわち, $s, t > 0$ に対して $B(s, t) = \int_0^1 u^{s-1}(1-u)^{t-1} du$).

(ア) $2p^{2p+1}B(p, 2p)$ (イ) $2p^{3p+1}B(p, 2p)$
 (ウ) $2p^{2p+1}B(p, 2p+1)$ (エ) $2p^{3p+1}B(p, 2p+1)$

【レポート課題：オンライン提出】

2 以下の設問に答えよ．

(1) $I = \int_{-1}^3 dx \int_{x^2-4}^{-x^2+4x+2} f(x, y) dy$ の積分順序を交換せよ．

(2) $J = \iint_D \max(x^2, y) dx dy$, $D = [0, 1] \times [0, 1]$ の値を求めよ．ただし, $\max(a, b) = \begin{cases} a & (a \geq b), \\ b & (a < b). \end{cases}$

(3) 空間図形 $V : x \geq 0, x^2 + y^2 \leq 1, 0 \leq z \leq |y|$ を平面 $x = t$ で切ったときの断面積 $S(t)$ を求めよ．

(4) (3) の V の体積 $v(V)$ を求めよ．

【自習用問題】

3 つぎの 2 重積分の値を求めよ．

(1) $\iint_D x^2 y dx dy$, $D : y \leq x \leq 2y, y \leq 1$ (演習書：問題 6.1.2 (1) 改題)

(2) $\iint_D \cos(x + y) dx dy$, $D : x \geq 0, y \geq 0, x + y \leq \frac{\pi}{2}$ (演習書：問題 6.1.2 (4))

(3) $\iint_D (x + y) dx dy$, $D : x \geq 0, y \leq 2, \sqrt{x} \leq y$ (演習書：問題 6.1.2 (5))

4 つぎの累次積分の積分順序を交換せよ．

(1) $\int_0^1 dx \int_{x^2}^{2-x} f(x, y) dy$ (演習書：問題 6.1.3 (1))

(2) $\int_0^\pi dy \int_0^{1+\cos y} f(x, y) dx$ (演習書：問題 6.1.3 (6))

5 つぎの 2 重積分および累次積分の値を求めよ．

(1) $\iint_D \sin \frac{y}{x} dx dy$, $D : 0 \leq y \leq \frac{\pi}{2}x, \frac{1}{2} \leq x \leq 1$ (演習書：問題 6.1.4 (3))

(2) $\int_0^1 dy \int_y^1 e^{x^2} dx$

6 空間図形 $V : x^2 + z^2 \leq 1, y^2 + z^2 \leq 1$ の体積 $v(V)$ を求めよ．